

令和4年9月2日

報道機関各位

熊本大学

第85回 IRCMS セミナー「感染症と北里柴三郎」開催

このたび、熊本大学 国際先端医学研究機構(IRCMS)では医師・作家の海堂尊氏を熊本に招き、第85回 IRCMS セミナー「感染症と北里柴三郎」を実施します。

第一部では『免疫学者が語る パンデミックの「終わり」と、これからの世界』（ちくま書房）を出版した小野昌弘 IRCMS 客員准教授（インペリアル・カレッジ・ロンドン准教授・主任研究者）が、コロナに関する情報が錯綜する中、いかに正しい情報を得るかについて講演します。また、第二部では『奏鳴曲 北里と鷗外』（文藝春秋）を上梓した海堂尊氏が、北里柴三郎博士が母校・熊本大学（入学時は「古城医学所兼病院」）で培った精神で築き上げた日本の衛生行政の土台について、講演します。

第三部では小野氏と海堂氏のお二人に須田年生 IRCMS 機構長・卓越教授（シンガポール国立大学教授）を交え、今後の衛生行政の進むべき道筋を、温故知新の精神を踏まえてディスカッションします。

市民の皆さまの喫緊の関心事に資する講演会及び鼎談になりますので、広く一般の方へお知らせいただくとともに、当日の取材方、よろしく願いいたします。なお、会場での取材を希望される場合は、下記の問い合わせ先にご連絡ください。

記

【日 時】令和4年9月16日(金) 15:00~17:00

【場 所】Zoom ウェビナー（要参加登録）

https://us02web.zoom.us/webinar/register/WN_Nwb0FZg3TCeznsQb5MOZKA

【対 象】一般の方（興味がある方はどなたでも）

【参加費】無料

※詳しくは別紙チラシまたはホームページをご覧ください。

<https://ircms.kumamoto-u.ac.jp/news/2022/09/85th-ircms-seminar.html>

【お問い合わせ先】

熊本大学国際先端医学研究機構（IRCMS）

担当：坂井・渡辺・吉岡

Email. ircms@jimu.kumamoto-u.ac.jp TEL：096-373-6848



85th IRCMS Seminar

感染症と北里柴三郎

開催日時: **2022年9月16日(金)**

15:00-17:00

開催方式: オンライン (Zoom Webinar)

★**無料、要参加登録**

★どなたでもご参加いただけます!



←
←参加登録はこちら



海堂 尊
[KAIDO Takeru]

博士(医学)。1961年千葉県生まれ。
外科医・病理医としての経験を生かした医療現場を描いたフィクション作品を多数発表している。
デビュー作『チーム・バチスタの栄光』(宝島社)をはじめとする「桜宮サーガ」と呼ばれる同シリーズは累計1千万部を超え、多くがテレビドラマ・映画化されている。Ai(オートプシー・イメージング=死亡時画像診断)の重要性を提唱し、関連著作に『死因不明社会2018』(講談社)がある。
近著に『コロナ黙示録』『コロナ狂騒録』(ともに宝島社)、『奏鳴曲 北里と鷗外』(文藝春秋)、『北里柴三郎 よみがえる天才7』(ちくまプリマー新書)がある。



小野 昌弘
[ONO Masahiro]

博士(医学)。1975年生まれ。免疫学者。
熊本大学国際先端医学研究機構(IRCMS)客員准教授。インペリアル・カレッジ・ロンドンでReader in Immunology(准教授)およびPrincipal Investigator(主任研究者)として、がん・新型コロナなどの感染症・自己免疫病におけるT細胞のはたらきを研究。
『コロナ後の世界—今この地点から考える』(筑摩書房)、『現代用語の基礎知識』(2020年版、2021年版、自由国民社)などに寄稿。2022年6月、『免疫学者が語る パンデミックの「終わり」と、これからの世界』(筑摩書房)を出版。



オーガナイザー: 須田年生 [SUDA Toshio]
博士(医学)。熊本大学国際先端医学研究機構(IRCMS)・機構長、卓越教授。シンガポール国立大学・教授。

問い合わせ: 熊本大学 国際先端医学研究機構(IRCMS) 坂井・渡辺・吉岡
Email. ircms@jim.kumamoto-u.ac.jp Tel. 096-373-6848